

平成 17 年度 研修・指導・学習事業

(1) 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の実施

保健衛生および環境保全に関し、現在問題となっている技術的な事象について、県健康福祉センターおよび市町の担当職員を対象に研修会を実施した。

実施日	研修内容など	参加者	担当部
17.5.31	環境保全・環境衛生に係る基礎技術研修会 ・水質異常時における対応について ・嗅覚測定について ・温泉水の成分について ・環境情報提供システム「みどりネット」の内容と利用方法について	28 名	生活科学部 環境保全部 管理室（企画情報 G）
9.27	感染症基礎研修会 ・患者情報から見た県内流行感染症の特徴 ・病原体検査結果からみた県内流行病原体 ・インフルエンザについて ・不明集団感染症について ・腸管出血性大腸菌感染症について ・医療機関で検出されるサルモネラの薬剤耐性について ・PCR 検査法の基礎	25 名	保健科学部 管理室（企画情報 G）
9.30	食品衛生基礎技術研修会 ・食中毒の検査法の概要、検体の採取・搬送時の留意点 ・食中毒事例と検査法、考え方（細菌、ウイルス） ・食品収去検査に係る注意事項（理化学） ・食品衛生検査と GLP 法について	6 名	保健科学部 生活科学部
18.1.13 ～19 の 5 日 間	細菌検査基礎技術研修 ・経口感染症、食中毒菌の分離・同定検査方法	5 名	保健科学部
1.20	環境衛生技術研修会 演題：環境科学物質のリスクについて 講師：福井大学医学部国際社会医学講座環境保健学領域 日下 幸則 教授	52 名	環境科学部
2.24	保健情報関連研修会 ・情報処理について ・課題を解決するためのデータの活用について	18 名	管理室（企画情報 G）

(2) 福井大学医学部環境保健実習

福井大学医学部環境保健学講座実習の一環として、学生を受け入れている。

今年度は保健衛生分野と環境保全分野でそれぞれ 6 名の学生を受け入れた。

- ・期間：9 日間（4 月 15 日～6 月 24 日）
- ・内容：保健衛生分野（病原微生物、食品衛生、環境衛生など）に関する講義と実習。
環境保全分野（大気汚染、水質環境、常時監視など）に関する講義と実習。

(3) インターンシップ研修制度への参加

学生が在学中に就業体験をするインターンシップ制度（福井県経営者協会主催）に協力し、学生の受入を行った。

- ・参加大学名：関西大学、東京理科大学、奈良女子大学、福井工業高等専門学校
- ・期間：5日間（8月1日～5日）
- ・研修内容：
 - 環境保全分野（事業全般、有害大気汚染物質の分析、河川・湖沼の調査など）
 - 環境科学分野（事業全般、環境ホルモン、ダイオキシン類などの紹介、農薬の分析など）
- ・研修生数：6名

(4) 環境教室

小中学生の環境学習を支援した。

①環境教室実施状況

- | | | | |
|-----------|--------|-----|-----|
| ・17.6.13 | 鶉小学校 | 5年生 | 44名 |
| ・17.8.23 | 大関小学校 | 6年生 | 3名 |
| ・17.10.20 | 日之出小学校 | 5年生 | 62名 |
| ・17.11.2 | 明道中学校 | 1年生 | 9名 |

②実施内容

- ・大気関係状況説明、質問回答（大気汚染、地球温暖化、酸性雨、オゾン層）
- ・大気汚染の環境簡易調査実習（NO、NO₂パックテスト）
- ・水質関係状況説明、質問回答（水質汚濁、水生生物）
- ・水質汚濁の環境簡易調査実習（pH、CODパックテスト、透視度）
- ・パネル、ビデオによる環境学習
- ・センター施設紹介、見学（実験室、大気テレメータ室、環境情報コーナー）
- ・みどりネットおよび関連ホームページ等インターネットによる環境情報の収集